

水産試験場鹿島浅海分場移転改築事業

1. 事業の目的及び効果

栽培漁業の発展には近年目覚ましいものがあるが、当県で、この分野の基礎研究を分担している水産試験場鹿島浅海分場は、施設設備ともに老朽化しているので、移転改築を行うことにより、栽培漁業の基礎研究の充実と栽培漁業の振興を図る。

(1) 現状と効果

研究設備の旧式化、施設の老朽化（塩害の影響・築後20年）、海水取水設備のメンテナンス困難、漁港施設の利用上の問題（現在地は恵曇漁港施設用地の中央部）等から移転改築を行い研究設備の充実、試験研究の充実（バイオテクノロジーの実施、ヒレモノの研究の実施）によって栽培漁業の振興に寄与する。

(2) 移転後の研究内容

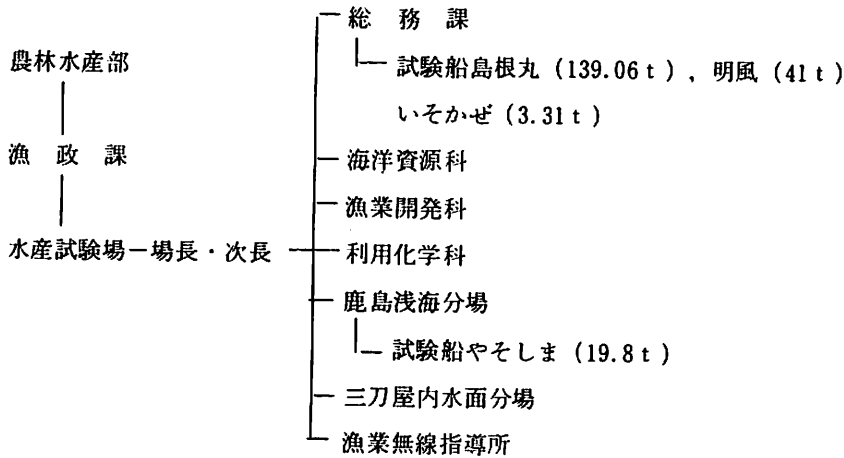
研 究 分 野	主 な 研 究 項 目
①生態環境資源調査	漁業実態 自然生態 漁場環境（環境収容力）資源解析
②種苗生産基礎研究	新魚種開発 バイオ・テクノロジーの導入 餌料研究 魚病研究
③放流技術研究	フィールド選択 自然馴致 追跡 放流効果

2. 沿革・組織

治 革

明治34年 4 月	島根県水産試験場を創設し、事務所を松江市都殿町県庁内に、養殖部を松江市内中原町に、漁撈、製造の2部を八束郡恵曇村大字江角に開設。
昭和23年 5 月	八束郡竹矢村馬潟に中海分場を開設。
昭和43年 3 月	中海干拓事業の着工に伴い、中海分場を廃止。
昭和43年 4 月	八束郡鹿島町大字恵曇字福野に鹿島分場を開設し、水産種苗供給所を併設。
昭和53年 4 月	鹿島浅海分場と改称し、栽培漁業センター（隠岐島）の創設に伴い、水産種苗供給所を廃止。
昭和63年 5 月	移転改築工事起工。
平成元年 8 月	新庁舎竣工。

組織・機構



3. 事業概要及び全体計画

(1) 移転先

八束郡鹿島町大字恵曇町字福野530-10

恵曇漁港内県有埋め立て地 (面積 約5,000 m^2)

(2) 整備する施設の概要

i) 庁舎本館 (RC-IF) 693 m^2

事務室, 情報海図印刷室, 図書室, 会議室, 休養湯沸室, 暗室, 水質実験室, 魚病実験室, バイテク実験室, 生理生態実験室, 育種保存室, 恒温室, 生物測定室, 検鏡室, 精密機器室 etc

ii) 飼育培養棟 (S-IF) 596 m^2

試験室, 機材保管室, 餌料室, 飼育培養室 etc

iii) 作業棟 (RC-IF (一部中2階)) 215 m^2

iv) 車庫等付属建物 (RC-IF) 144 m^2

車庫, 潜水準備高圧室, 観測器具保管室, 油庫, 廃棄物処理室, 焼却室, 倉庫

vi) 海水取水施設 (深層取水ポンプダイレクト揚水方式)

取水口, 取水管, 揚水ポンプ, ろ過装置 (1次・2次), 配水タンク, 配水管 etc

vii) 外構

舗装, 植栽, 照明, フェンス etc

(3) 総工費 462,176千円

海水取水工事費 94,615 "

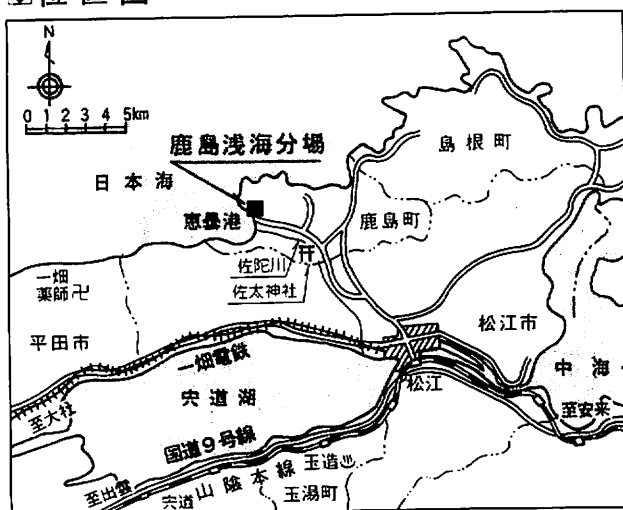
庁舎建設費 367,516 "

(4) 事業の年度配分

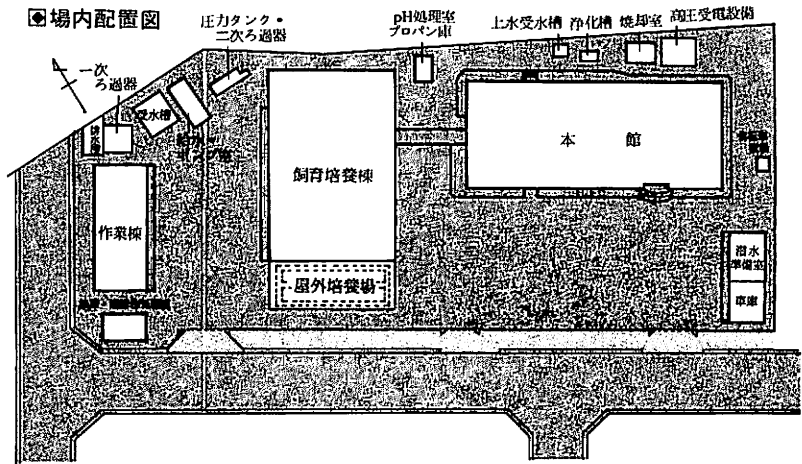
項 目				備 考
	62年度	63年度	64年度	
建築工事等	—	○	○	電気工事,機械設備工事を含む。63年度に一括発注(64年度工事分債務負担行為済み。)
海水取水工事	—	○	—	
外 構 工 事	—	—	○	構内舗装,門,柵,塀 等
撤 去 工 事	—	—	○	旧分場解体撤去
備 品 整 備	—	—	○	研究設備他備品一式
地 質 調 査	○	—	—	
事 務 費 等	○	○	○	64年度の建築工事等にかかる事務費については債務負担行為済み。

(5) 位置

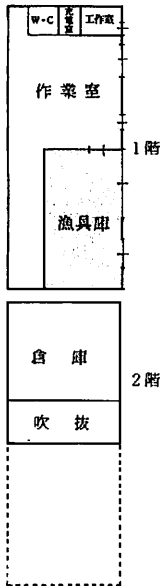
◆位置図



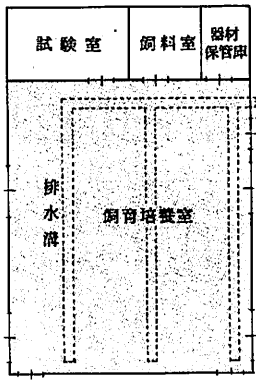
(6) 主要施設



●作業棟



●飼育培養棟



●本館

